

イスラエル経済月報(2017年7月)

在イスラエル日本国大使館 (担当: 経済班 松本理恵)

<目次>

イスラエルの動き (主な報道)	2
主要経済指標.....	5
1. 経済成長率 (GDP)	
2. 消費者物価指数 (CPI)	
3. 貿易 (Export & Import of Goods)	
4. 失業率推移 (Unemployment rate)	
5. 為替推移	
6. 公定歩合 (interest rate)	
7. 外貨準備高 (foreign reserve)	
8. 主要株価推移 (TA35)	
日本-イスラエル 経済関係.....	10
コランダム, Theranica に投資 (5日)	
トヨタ TRI, ロボティクススタートアップに投資 (12日)	
東京農大, ワイツマン研, 日健総本社が包括連携協定を締結 (12日)	
アドイノベーション, Taptica と資本業務提携 (18日)	
Autotalks, 東京と名古屋に拠点を開設 (19日)	
田辺三菱, 医薬品ニューロダーム社を買収 約 1241 億円で (24日)	
大日本印刷, I A I 社の技術でサイバー人材育成の新コース (21日)	
オリックス, 地熱発電オーマットの最大株主へ (26日)	
日イスラエル IoT 企業 IQP, GE に買収される (31日)	
展示会・国際会議の今後の予定.....	13
スタートアップ DLD Tel Aviv (9月3~7日, テルアビブ)	
水技術 wattec 2017 (9月12~14日, テルアビブ)	
スポーツ技術 APCST (10月15~19日, テルアビブ)	
セキュリティ NexTech 2017 (10月18日, ベエルシェバ)	
医療 CAST (10月22~23日, テルアビブ)	
医療機器 IDAN (10月24~26日, テルアビブ)	
医療 RCINGSCM (10月31日~11月1日, ヘルツェリア)	
産業技術 technology2017 (10月31日~11月2日, テルアビブ)	
環境 DDD 2017 (11月6-9日, ベエルシェバ)	
医療 イスラエル麻酔学会国際会議 (11月7~8日, テルアビブ)	
無人機 UVID 2017 (11月9日, エアポート・シティ)	
空調設備 ACLIMA (11月7~9日, テルアビブ)	
家具 TIMBER 2017 (11月21~23日, テルアビブ)	
食・サービス Food & Hospitality Week (11月28~30日, テルアビブ)	
ライフサイエンス ヘルスケア技術革新 (12月3~6日)	
医療 ICI 2017 (12月3~5日, テルアビブ)	
都市 MUNI EXPO (2018年2月13~14日, テルアビブ)	
医療 国際 ADHD 会議 (2018年3月19~21日, テルアビブ)	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 2日 砂糖大手 Sugat 社が、キリヤットガット工場を閉鎖し、従業員 60 人をレイオフする。今後は欧州各国から白糖を輸入する。EU の生産割当制度の廃止に伴うもの。
- 3日 ウォールストリートジャーナル紙が選ぶ「トップスタートアップ 25 選」、6 社がイスラエル企業。サイバーは 4 社中 3 社と、イスラエルの強さを見せつけた形。
- 3日 エルアル航空は、低価格キャリアのイスラエアーを買収し、既存子会社と統合する。今後、独禁委の承認やパイロットとの合意等を経て、12 月 31 日に契約予定。
- 3日 熱波により、電力消費量が急増。歴代 2 位となる 12,708 メガワット/日を記録した。消費量の 75% はイスラエル電力公社、残り 25% は新電力業者により供給された。
- 4日 テルアビブ市がカルメルマーケットの再開発を計画中。既存業者からは「アズリエリのような高価で人工的な場所になればカルメルの魅力は消える」と反対の声も。
- 4日 アマゾンが、R&D センターの拡充に向け、2 万 1,000 平米のオフィスを契約。テルアビブのアズリエリセンターと、ハイファのマタム工業団地内に場所を確保した。
- 4日 ハイテク人材の人件費が高騰。第 2 四半期でさらに上昇し 26,000NIS（約 7,400 ドル）に。特に人気の分野においては 32,000NIS と跳ね上がっている。
- 5日 インドのモディ首相が、4 日からイスラエルを訪問中。インド首相として初の歴史的な訪問で、ホロコースト記念館をはじめ道中ほとんどネタニヤフ首相が同行する。
- 5日 テルアビブ北部に、パーク&ライド用の大型駐車場建設が決定。テルアビブ-ハイファ鉄道に接続するもので、7,000 台収容。エルサレム近郊にも類似施設が建設予定。
- 5日 財務省は、昨年末の予算成立後に承認された活動に必要な 12 億 NIS の資金確保のため、各省予算の一律 1% カット（計 11.2 億 NIS）をクネセット金融委に求めた。
- 6日 インテルイスラエルの 2016 年調達は 57.6 億 NIS。うち 75% は中小企業から。「我々の輸出はイスラエルハイテク輸出の 8% に相当し、経済に大きく貢献している。」
- 6日 若者向け固定価格住宅に 36,292 人が応募。今後、24 地区 15,000 戸の割引住宅を巡る抽選が行われる。人気地区はリシヨンレツィオン、ヘルツェリア、モディーン。
- 6日 2017 年上半期のハイテク Exit は、57 件 19.5 億ドルとなった。件数、金額ともに過去 5 年で最低の水準。うち 46 件は M&A、7 件は IPO、4 件は buyout であった。
- 7日 インド・イスラエルの両首脳が、共同声明に署名。①4,000 万ドルの投資ファンド設立、②水・農業分野での協力、③宇宙分野での協力など 7 本の MoU が結ばれた。
- 7日 サイバーセキュリティ大手シマンテック社、イスラエル Fireglass 社を 2.5 億ドルで買収。ウェブサイト閲覧時におけるマルウェア等の危険を取り除く技術を有する。
- 9日 財務省と証券庁は共同で、ハイテク企業投資ファンドのマネージャー 4 名を募集する入札を開始した。選定された各ファンドは国から 5 千万 NIS の保護を受ける。
- 9日 建築中のアズリエリサロナタワー、ラマトガンのアビブタワーを抜いてイスラエルで最も高いビルに。全長 238.5 メートル、61 階建てで、総工費は 16 億 NIS。
- 9日 製薬大手 TEVA、元従業員を競合への情報漏洩で告訴。退職した女性従業員は、カナダの競合企業の CEO とパートナー関係にあり、製品開発情報を漏洩していた。

- 10日 カーナビアプリ Waze が、「駐車場探し所要時間」を推定する機能を実装。移動速度、周辺の混み具合、他ユーザーが駐車に要した時間などを総合して推定する。
- 10日 中央銀行、市中銀行の自動車ローンに健全性検査を求める。中古車を担保にする場合は本体価格の 60%まで、5 年以上経った車は担保として認めないとの指導。
- 11日 7月にイスラエルを訪問した観光客数が、前月比 28%増。特に中国からは 76%増と著しく、ロシア 30%増、米国 20%増。1-6 月期の訪問者数は史上最高となった。
- 11日 公取委、ガソリンスタンドの寡占状態が、ガソリン価格をリッター0.1NIS 高くしていると指摘。主要 4 社が国内市場シェア 84%を占めており、有意な競争がない。
- 12日 テルアビブのカルメル市場内に、イスラエル発のビーガン（完全菜食主義者）向けスーパーマーケットが開設された。生産者とのフェアトレードにも取り組む。
- 12日 イノベーション庁、大企業主導のスタートアップ R&D 投資を支援。年商 1 億ドル以上、R&D 投資 2,000 万ドル以上、研究者 200 人以上を有する企業 20 社が対象。
- 12日 イージージェットが、イタリア便を新設。ベニスに火木土の週 3 便、ナポリに水士の週 2 便が運行する。同社の乗降客数は、エルアル、トルコ航空に次ぎ当地 3 位。
- 13日 トルコのアルバイラク エネルギー大臣は、トルコでの会議でシュタイニッツ資源エネルギー大臣と面会し、天然ガスの議論のための年内イスラエル訪問を約束した。
- 13日 レウミ銀行は、近年の合理化施策の延長として、600 人超の早期希望退職を募る。同行は 2012~2016 年に 2,200 人をレイオフしてきたが、効率性は低下している。
- 14日 政府は、防衛相が推すヨルダン川西岸地区のパレスチナ都市カルキリヤの拡大計画を凍結。ベネット教育相は「イスラエルの安全保障上、非常に悪い計画」と述べた。
- 14日 ロテムエナジー社が、ネゲブ・シェールオイル事業のために 2,500 万 NIS の調達計画を発表。中国系インフラ企業と組んで、1.35 億バレルの石油を生産する計画。
- 17日 中銀フルグ総裁、建設業者の会議で「住宅価格が下がり始めたと言うには時期尚早。10 年間上昇した価格が一旦落ちていますが、まだ上昇傾向が止まったとは言えない」。
- 17日 国防軍が初のハッカソン開催。「偽ニュースを検出せよ」を課題に、予選を突破した 26 チームが 24 時間で 50 万 NIS と海外の技術系会議出場権を向けて争った。
- 17日 エルサレムライトレール建設で、グリーンラインの建設予定地が東エルサレムの一部地域を通っていることから、外国企業が入札を躊躇。政治的な反発を生みそうだ。
- 18日 国会は、女性の定年の 64 才への延長を、2018 年 2 月 15 日まで凍結すると決めた。辛い業務に従事したり 62 才までに辞めたりする女性の問題解決を優先する。
- 18日 財務省、インフラ省、運輸省は、インフラ開発計画を検討する合同委を立ち上げた。ライトレールや地下鉄など、西欧に比べて乏しいイスラエルのインフラを強化する。
- 19日 国会は、公正借家法を制定へ。賃貸契約における最低品質を規定し、これを下回る場合には家主に補修義務を課す。議員立法による 6 法案を統合し、4 年越しで成立。
- 19日 国税庁が、ネット販売を営むイスラエル人 2 人を、収入を報告せず脱税した疑いで逮捕。同庁はオンライン商取引を対象に調査を続けていたが、初の逮捕者となる。
- 19日 イスラエルの小売大手 BIG グループが、荷物配達へのドローン利用に乗り出す。コンペで選ばれた Terrascan 社が開発を手掛ける。サービス開始日は現時点で未定。
- 20日 IVC の調査によれば、2017 年第 2 四半期、イスラエルのスタートアップ 157 社が 12.6 億ドルを調達した。昨年よりわずかに低いが、過去 5 年で 2 番目の水準。

- 20日 ファッション販売用の人工知能を開発するイスラエルスタートアップ Syte.ai が、800 万ドルを調達。NHN Ventures を筆頭に、LINE 社や Nave 社などが参加した。
- 20日 “中東の Uber” と呼ばれるドバイ発配車サービス Careem が、西岸地区での営業を開始する。ネット環境は悪く電子決済は普及していないが、事業者は楽観的だ。
- 21日 新聞週末版のシェアが逆転。2017 年上半期に「イスラエルハヨム紙」が 34.6% のシェアを得て、「エディオット・アハロノット紙」（34.1%）を初めて上回った。
- 23日 インドのリライアンス社、エルサレムのイノベーションインキュベーターに 2,500 万ドルを投資。OurCrowd、モトローラ、ヘブライ大 Yissum と協力したものの。
- 24日 テバ、競争力強化のため国内で 300-350 人のレイオフへ。クファルサバ及びビラマトホバブ拠点のレイオフに向け、労働組合と調整を開始。組合は反発している。
- 24日 建設労働者を勧誘するため、イスラエルの訪問団がまもなく中国へ出発。山東省、江蘇省に計 3 週間滞在し、今年中に 20,000 人の中国人労働者受入を目指す。
- 24日 配車アプリ Gett は国内タクシー 25,000 台のうち 8,000 台に普及。同社が割引価格で空港送迎便を受託したことは、ドライバーにとって収入源の痛手となりそうだ。
- 25日 米イスラエル共同ファンドの BIRD 基金が、ホームランドセキュリティ事業 3 件に計 700 万ドルを投資。米国土安全保障省とイスラエル公安省が選定したものの。
- 25日 ケチャップ大手オセム及びハインツは、保健省の不健康食品表示制度の導入を見越して低糖・減塩ケチャップを市場に投入。通常品より高いにも関わらず売上は好調。
- 26日 タクシー配車サービス Gett（通称 GetTaxi）が、新たにミニバス配車サービスの提供を開始。イベント会場と駅の移動や、事業所間の移動等による法人利用を見込む。
- 27日 7月の当地スタートアップの調達額は 4 億ドル。上半期全体で 23 億ドルのところ、このペースを維持している。今月は特にライフサイエンス分野での調達が目立った。
- 27日 LCC 効果でエイラット向け観光客増加。2017 年に入ってから、欧州から南部ウブダ空港への乗降客数が 33% 増加。フライトは 27% 増えており、多くが LCC である。
- 27日 国会が、地方自治体が提供する放課後ケアサービスの料金に上限を設定。新法によれば、現状を大きく下回る月 935NIS（要経済支援児は月 700NIS）が上限となる。
- 28日 通信大手 HOT 社の従業員 50 人が早期退職勧奨を受入。給与の 230% の退職金等が与えられる。関係者は、これから始まる大規模レイオフの序章に過ぎないと見る。
- 28日 ライアンエアーがテルアビブ-ローマ便を 10 月 29 日から毎日運航。手荷物無しで片道 17 ユーロ〜という破格の値段設定。既存 LCC のイーージェットの約半額。
- 31日 イスラエル初のモルトウイスキーが生産された。テルアビブのミルク&ハニー蒸留所から 3 年物が「試験シリーズ」100 本が出荷され、国際オークションにかかる。
- 31日 ガソリン価格が 3% 上昇。8 月 1 日から、リッター 5.76NIS から 5.94NIS に上昇する（エイラットは 5.08NIS に）。値上げの主因は世界的な原油価格上昇である。
- 31日 TEVA、米国市場でニキビ治療薬 Epiduo のジェネリック薬の販売を開始。同薬初のジェネリック上市となるため、TEVA は 180 日間のジェネリック生産独占権を得る。

主要経済指標

1. 経済成長率（GDP）

● 第1四半期の経済成長、上方修正されて1.4%に

中央統計局は、イスラエルの第1四半期の経済成長を上方修正し、1.4%とした。5月発表の一次推定は1.4%、6月発表の二次推定は1.2%であった。

上方修正されたものの、2016年第3四半期と第4四半期の成長率（各4.1%、4.6%）と比べれば引き続き低い値となっている。

第1四半期の成長率が低くなった大きな要因は、自動車輸入の急激な低下の影響による。中央統計局は、自動車輸入を除けば第1四半期のGDPは3.3%上昇していたとしている。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-israels-first-quarter-growth-revised-upwards-1001197320>)

グラフ出典：中央統計局発表値 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/tables_template_eng.html?hoda=201708201) より当館作成



2. 消費者物価指数（CPI）

● 6月期のCPI、予想を上回る0.7%低下

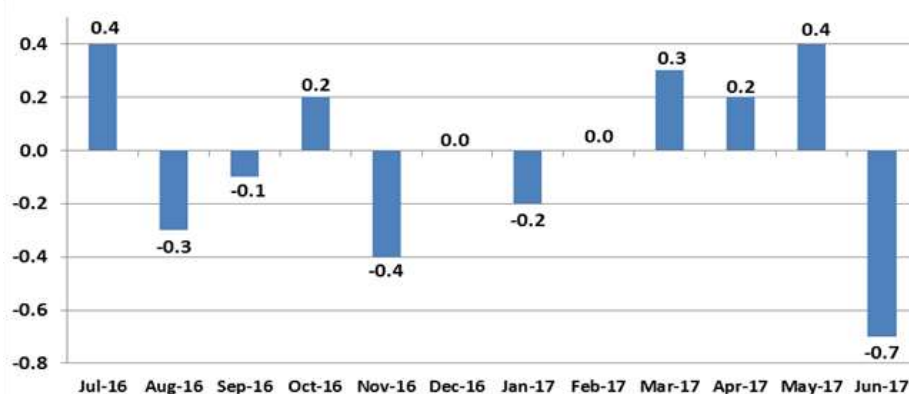
2017年6月期の消費者物価指数は、6月期に市場予想を上回る0.7%下落となった。事前予測では0.2%減とみられており、予測より急激な下落となった。

特に低下幅が大きかったのは生野菜・果物

（8.7%減）、衣料・靴（5.4%減）、住宅メンテナンス（1.1%減）であった。住宅メンテナンスは、水の基本価格の14.5%切り下げによる影響によるものと見られる。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-cpi-drops-by-more-than-expected-1001197229>)

グラフ出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hoda_template_eng.html?hoda=201710200)

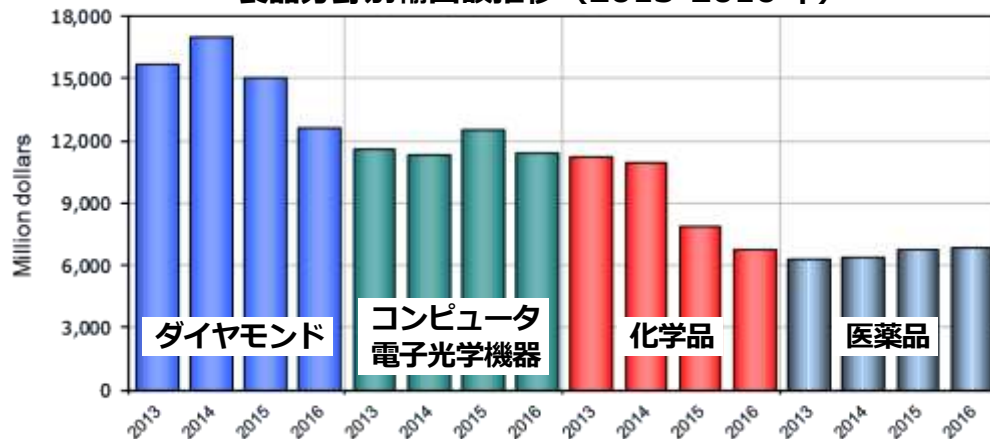


3. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

● 2016年の国・産業別輸出実績発表。ダイヤ輸出が全体の21%

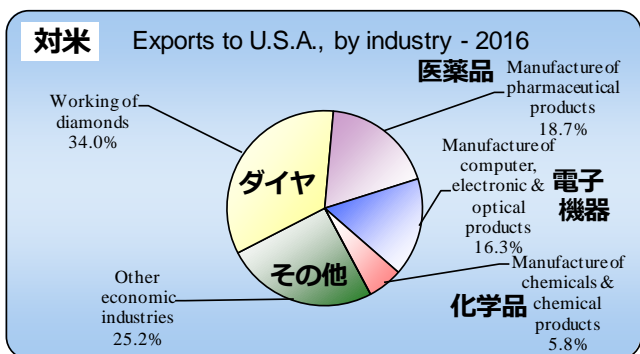
18日、中央統計局は2016年の物品輸出の国・産業別実績を発表した。物品輸出総額は**606億ドル**（前年比5.5%減）。2016年の輸出の大宗はダイヤモンド（21%）が占め、コンピュータ・電子光学機器（18.9%）、医薬品（11.4%）、化学品（11.3%）が続く。

製品分野別輸出額推移（2013-2016年）



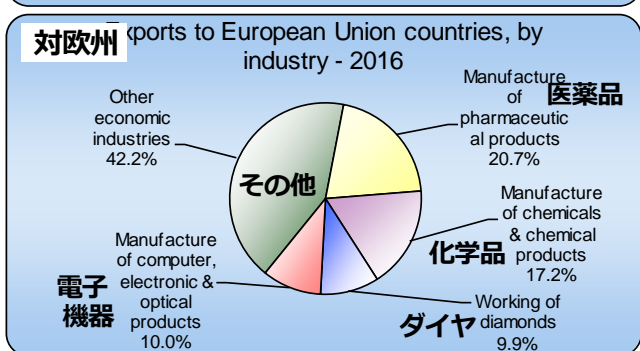
米国向け輸出は、総額 177 億ドル（前年比 2.9%減）。主要分野は、ダイヤモンド（34.0%）、医薬品（18.7%）、コンピュータ・電子光学機器（16.3%）。

2010年に比べ、医薬品が27.3%減少、ダイヤモンドが11.2%減少した一方で、電子機器が20.8%増加した。



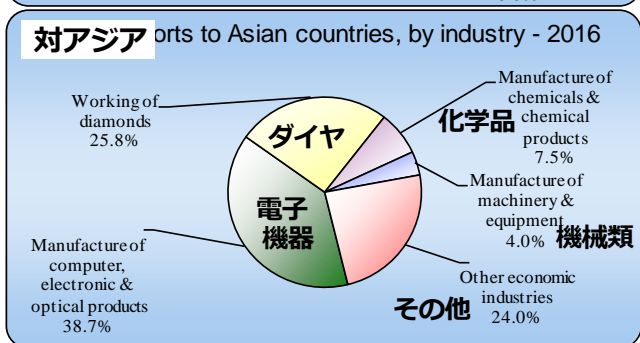
欧州向け輸出は、総額 158 億ドル（前年比 1.9%減）。主要分野は、医薬品（20.7%）、化学品（17.2%）、コンピュータ・電子光学機器（10.0%）。

2010年に比べ、電子機器が25.0%減少、化学品が22.9%減少した一方で、医薬品が倍増（113.7%増加）した。



アジア向け輸出は、総額 156 億ドル（前年比 11.8%減）。主要分野は、コンピュータ・電子光学機器（38.7%）、ダイヤモンド（25.8%）、化学品（7.5%）。

2010年に比べ、医薬品が27.3%、ダイヤモンドが11.2%減少した一方で、電子機器が20.8%増加した。



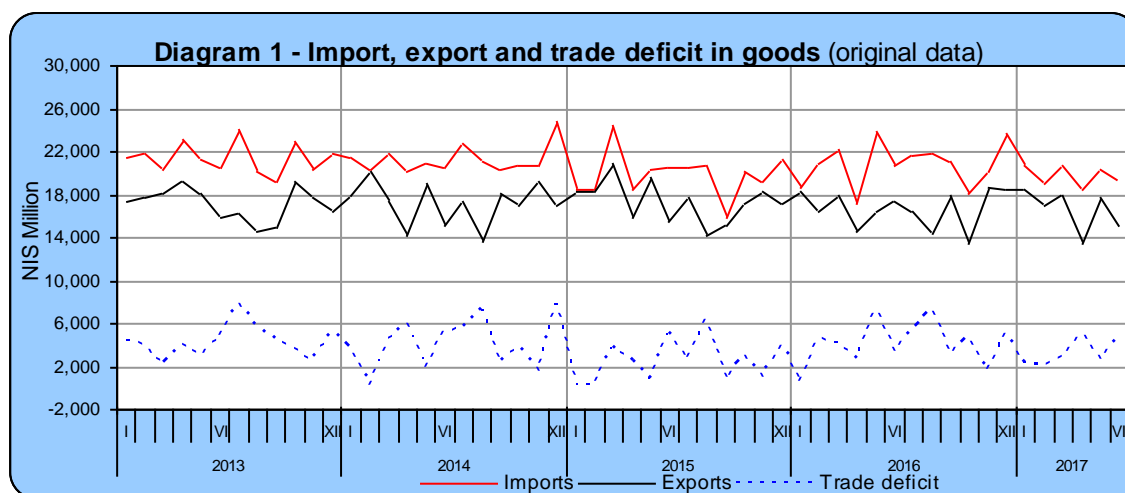
出典：中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201716206)

● 2017年6月期の貿易赤字（物品のみ）は44億シェケル

中央統計局の発表によれば、2017年6月期の物品輸入は193億NIS、物品輸出は149億NISであり、貿易赤字は44億NISとなった。

物品輸入は直前3カ月間で年率3.1%減少した。輸入の43%は原材料（ダイヤ、燃料除く）であり、20%が消費者製品、17%が機械、装置、産業機械であった。残り20%はダイヤ、燃料、船舶、航空機である。

物品輸出は直前3カ月間で年率9.7%減少した。鉱工業製品の輸出が全体の92%を占め、6%がダイヤモンド、2%が農林水産品であった。工業製品輸出に占めるハイテク製品の割合は、直前3カ月間で0.1%減少し、48%となった。中でも、コンピュータ、電子・光学製品及び医療機器の輸出が年率14.6%という大きな下落を見せた。



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201716197)

4. 失業率推移 (UNEMPLOYMENT RATE)

● 2017年6月期の失業率平均は4.5%で、前月同

中央統計局は、2017年6月期の失業率は4.5%であり、2017年5月期と同水準であったと発表した。性別で見ると男性は4.3%(前月比0.2%減)、女性4.7%(前月比0.2%増)となった。

15才以上人口における労働人口は399.4万人、うち被雇用者数は381.6万人(男性202.3万人、女性179.3万人)となった。労働参加率は64.1%で、前月と同じであった。



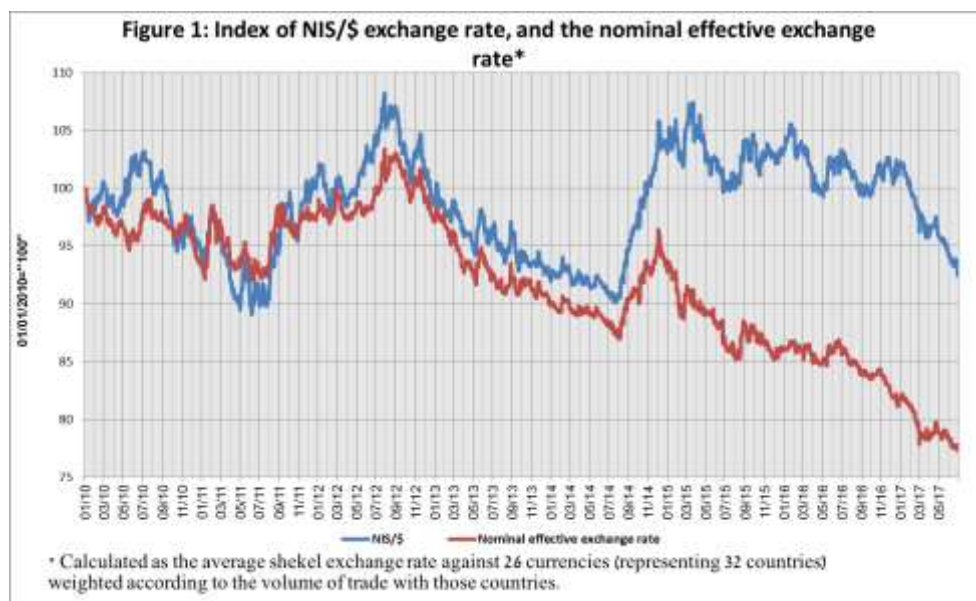
出典：イスラエル中央統計局 (http://www.cbs.gov.il/reader/newhodaot/hodaa_template_eng.html?hodaa=201720218)

5. 為替推移

● 世界的なドル安傾向の中、シェケルは対ドルで上昇

2017年6月期、シェケルは対ドルで約1.8%高、対ユーロで約0.5%安となった。イスラエルの主要貿易相手国に対する実効為替レート（貿易加重平均）は、約0.9%高となった。世界的には、6月期には主要通貨に対してドルは弱まる傾向にあり、対ユーロ2.2%安、対英ポンド1.0%安、対スイスフラン1.8%安。他方、対日本円では0.8%高となった。

為替市場全体の取引量は約1,460億ドル、1日あたり取引量は約66億ドル（前月比9%減）となった。



(※— : シェケル/ドル相場, — : 実効為替レート)

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/ForeignCurrencyMarket9-7-17.aspx>)

6. 公定歩合 (INTEREST RATE)

中央銀行は10日、公定歩合を0.1%に据え置くことを決定。中銀の金融委員会は、据置き理由として、イスラエルのインフレ率は政府の1~3%の物価安定目標の中間に近いものの、最大3年間のインフレ期待は目標水準を下回っているとの見方を示した。

同委員会はまた、経済活動の指標が第2四半期の堅調なペースで継続的な成長を示し、労働市場が依然として強いことを指摘している。住宅価格について、委員会は、過去数ヶ月間安定しており、住宅市場指標は市場の冷え込みを示し続けていると述べている。

※改訂は年8回。今後、年内の改訂発表日は、8月29日、10月19日、11月27日。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/0-7-17Interestrate.aspx>)

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

- 中銀は6月期に、6.64億ドルを買入れ、準備高は過去最高をまた更新。

中央銀行による6日の発表によれば、2017年6月末時点の外貨準備高は、過去最高を更新する1,087億ドルに到達した。

前月比13.39億ドル増加。理由は、中央銀行による6.64億ドルの外貨購入と、再評価による7.12億ドルの価値増加、民間移転5,500万ドルである。なお、政府移転9,200万ドルにより、増加幅は減少した。

出典：イスラエル中央銀行 (<http://www.boi.org.il/en/NewsAndPublications/PressReleases/Pages/6-7-17.aspx>)

8. 主要株価推移 (TA35)

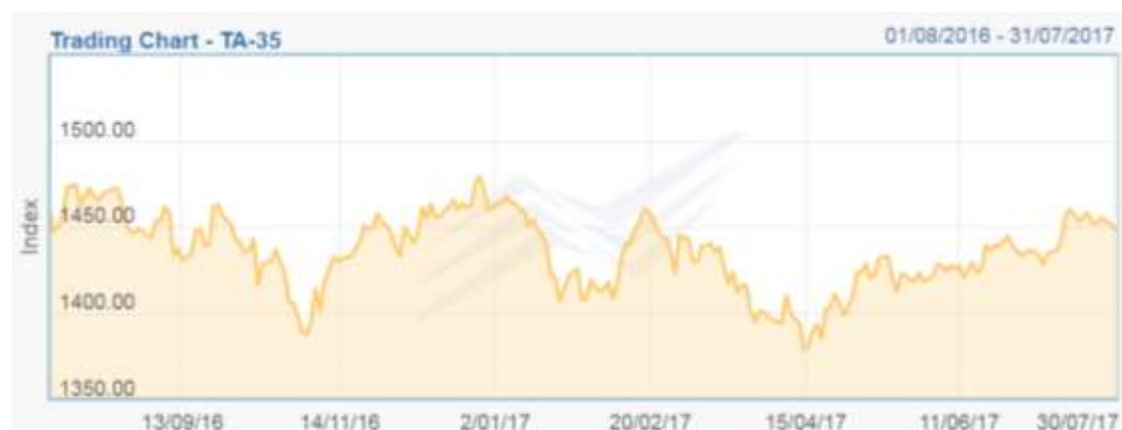
16日、テルアビブ証券取引所 (TASE) は、新たな指数「Tel-Bond-Global Index」を発表した。同指数には、TASE で取引されるがイスラエル指向のない外国企業が含まれる。

23日、テルアビブ証券取引所 (TASE) は、新たな指標「Tel Bond Shekel-50」を発表した。同指数にはイスラエル債券トップ50が含まれ、外国企業の債券は含まれない。

月間推移



年間推移



出典：テルアビブ証券取引所 (<http://www.tase.co.il/eng/pages/homepage.aspx>)

日本-イスラエル 経済関係

(出典：各社等発表，報道)

コランダム，THERANICA に投資（5日）

偏頭痛治療のための医療機器を開発するセラニカ社（Theranica Bio-electronics，本社 ネタニヤ）は，米ライトスピードベンチャーパートナーズを筆頭に，イスラエルのリロンバード社及び（日本企業コランダムイノベーションの子会社）コランダムオープンイノベーションらから，計 600 万ドルのシリーズ A 調達を終えた。

出典：セラニカ社プレスリリース (<http://www.prnewswire.com/news-releases/theranica-raises-6m-to-combat-migraine-632259383.html>)

トヨタ TRI，ロボティクススタートアップに投資（12日）

トヨタリサーチインスティテュート（TRI）は，高齢者向けロボティクス技術を開発するイスラエル企業，インスティテューション・ロボティクス社（Institution Robotics，本社 ラマトガン）への計 1,400 万ドルの投資を主導した。他の投資家は，OurCrowd，iRobot，Maniv Mobility，Terra Venture Partners，Bloomberg Beta と，他の民間投資家である。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-robot-companion-co-intuition-robotics-raises-14m-1001196753>)

東京農大，ワイツマン研，日健総本社が包括連携協定を締結（12日）

東京農業大学(東京都世田谷区桜丘 1-1-1、学長：高野克己)は、平成 29 年 7 月 7 日にイスラエル国立ワイツマン科学研究所(所長ダニエル・ザイフマン)及び株式会社日健総本社(岐阜県羽島市福寿町浅平 1-32、代表取締役社長：森伸夫)と、包括連携協定を締結した。

協定締結式は、7月7日に同大世田谷キャンパス農大アカデミアセンターにて行われ、同大高野学長ら、ワイツマン科学研究所ザイフマン所長ら、国際応用藻類学会ベンアモツ上級理事、(株)日健総本社森代表取締役社長らが、また、カハノフ駐日イスラエル大使らが出席した。今後、3者は活発な学術交流を行い、特に微細藻類を活用した世界貢献を目指す。

出典：東京農業大学プレスリリース (<http://www.nodai.ac.jp/news/article/18254/>)

アドイノベーション，TAPTICA と資本業務提携（18日）

アプリのマーケティング支援を展開するアドイノベーション株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：石森博光）は、広告主や広告代理店向けのグローバルエンドツーエンドの広告プラットフォームで、アプリ収益化の包括的サービスを提供する Taptica

International Ltd（本社：イスラエル、CEO：Hagai Tal）と、モバイルアプリマーケティング領域におけるグローバル展開推進に関して資本業務提携した。

本提携により、Taptica はアドイノベーション発行済株式の過半数を取得し、アドイノベーションは Taptica のグループ会社となる。経営体制強化のため、Taptica から 4 名の取締役が就任予定。

出展：アドイノベーション社ウェブサイト (<http://adinnovation.co.jp/news/3621.html>)

AUTOTALKS, 東京と名古屋に拠点を開設（19日）

イスラエルのコネクテッドカー通信技術を開発する Autotalks 社は、日本に 2 拠点を開設し、自動車製造業者やティア 1 企業へのローカルサポートを提供する。アジア太平洋地域の統括は、同地域での事業開発・販売担当副社長を筆頭とする東京事務所が担当する。名古屋事務所では、R&D と技術サポートを担う。

Autotalks は、6 月にトヨタや三井住友銀行等の投資ファンドである未来創成ファンドや、三井物産系投資ファンドから、合計 4,000 万ドルの調達を行っている。

出典：報道・グローブス紙 (<http://www.globes.co.il/en/article-autotalks-opens-offices-in-japan-and-korea-1001197693>)

田辺三菱、医薬品ニューロダーム社を買収 約 1241 億円で（24日）

田辺三菱製薬は、ニューロダーム社（NeuroDerm Ltd.、本社：イスラエル国レホヴォト、CEO：オデッド・S・リベルマン（Oded S. Lieberman）、ナスダック上場）の買収手続き開始について、ニューロダーム社と合意した。

今後、ニューロダーム社の株主総会での承認、およびその他法的手続きの完了を条件に、ニューロダーム社を存続会社とし、当社のイスラエル国における買収目的会社（以下、「SPC」）を消滅会社とする逆三角合併を行い、ニューロダーム社は田辺三菱製薬の完全子会社となる。

普通株式およびストックオプションを含む本買収の取得価額の総額は、約 11 億米ドル（約 1,241 億円）（一株あたり 39.00 米ドル）となる予定。

出典：田辺三菱製薬ウェブサイト (<http://www.mt-pharma.co.jp/shared/show.php?url=../release/nr/2017/MTPC170724.html>)

大日本印刷、IAI社の技術でサイバー人材育成の新コース（21日）

大日本印刷株式会社（本社：東京 社長：北島義俊 以下：DNP）は、企業に対するサイバー攻撃の対策要員を訓練、養成するサイバーナレッジアカデミーにおいて、産業制御システムへのサイバー攻撃の対処法を身につける「サイバー・インシデントレスポンス・マネジメントコース 産業制御系・基礎」を 9 月に開設する。

これは、イスラエルの I A I 社の訓練システム「TAME Range」を活用したもので、D N P ではこれまでも、I A I 社の技術を活用し、サイバー攻撃への対応を訓練・学習する演習コースを提供してきた。

出典：大日本印刷ウェブサイト (http://www.dnp.co.jp/news/10137519_2482.html)

オリックス、地熱発電オーマットの最大株主へ（26日）

オリックスは、イスラエル発祥の地熱発電大手オーマット・テクノロジー社（本社：米国ネバダ州）の所有権 22.1%の買収を完了し、同社の最大株主となった。買収金額は6億2,700万ドル。

買収に伴い、ギロン・ベック会長とロバート・ジョヤル取締役、アミ・ボーム取締役が辞任し、代わってトッド・フリーランド氏が会長に、錦織雄一氏（オリックス社取締役 兼 専務執行役）とスタン・コヤナギ氏（オリックス社取締役 兼 常務執行役）が取締役にそれぞれ就任した他、バロン・ウォン氏が取締役会に加わった。

出典：オーマット社ウェブサイト (<http://www.ormat.com/news/latest-items/ormat-technologies-inc-implements-corporate-governance-changes-connection-closing->)

日イスラエル IOT 企業 IQP, GE に買収される（31日）

日本で設立されテルアビブに研究開発センターを持つ IoT スタートアップ IQP が、GE デジタルに買収された。IQP Corporation は、IoT 及びビジネスアプリケーション向けコードフリーアプリ開発環境+ランタイム環境である IQP を開発、提供している。

IQP Corporation は 2011 年に東京で設立され、イスラエルのテルアビブに研究開発センターを設立。2016 年に米国市場への参入を決め、シリコンバレーに本社を移転した。IQP にはこれまで、富士通及び SBI インベストメントが投資を行っている。

出典：IQP 社ウェブサイト (http://iqpiot.com/News/GEDigital_news.html)

JST とイスラエル科学技術省、共同研究課題の募集を開始（31日）

国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) は、戦略的国際共同研究プログラム (SICORP) の一環として、イスラエル科学技術省 (MOST) との間で、「レジリエントな社会のための ICT」に関する共同研究支援の第 3 期目の公募を開始。日本-イスラエルの研究者による共同研究課題を募集する。

日本側研究者は提案を JST に申請し、イスラエル側研究者は提案を MOST に申請。詳しくは公募要領 (<http://www.jst.go.jp/inter/sicorp/download/is7th/Israel2017.pdf>) を参照のこと。（日本側研究者に合わせ、イスラエル側研究者から M O S T に同様の提案申請がなされない場合は、審査の対象とならない。）

募集期間：平成 29 年 7 月 31 日（月）～同年 10 月 16 日（月）午後 5 時（日本時間）

出典：JST ウェブサイト (http://www.jst.go.jp/inter/sicorp/announce_is7th.html)

展示会・国際会議の今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※日本からお越しになる方には、現地企業との個別アポイント等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

スタートアップ DLD TEL AVIV（9月3～7日、テルアビブ）

スタートアップの祭典。多数の技術系スタートアップに加え、ベンチャーキャピタルや、多国籍企業のR&Dセンター、海外企業等が来訪する。ハイテク分野での国際会議・展示会。街全体を巻き込んだスタートアップ展示やミートアップイベントなどが開催される。

<http://www.dldtelaviv.com/>

水技術 WATEC 2017（9月12～14日、テルアビブ）

水・環境技術に関する国際展示会。水・エネルギー・環境分野の企業が主として参加し、新たなビジネスパートナーや投資家等を見つける機会となる。水技術に関するカンファレンスや専門家パネル等のイベントも多数併催される。

<http://watec-israel.com/>

スポーツ技術 APCST（10月15～19日、テルアビブ）

スポーツテクノロジーに関するアジア太平洋会議。科学者、起業家、産業界の代表を対象とし、21世紀のスポーツと関連技術についての新たなソリューションに関する議論の場を提供。対象は、軍の兵士からオリンピック選手まで幅広い。

<http://apcstcon.com/>

セキュリティ NEXTECH 2017（10月18日、ベエルシェバ）

南部都市ベエルシェバにて開催される次世代技術の展示会。イスラエルのサイバーセキュリティ技術の開発拠点となるベエルシェバの地で、ベングリオン大学や国防軍、関連企業などで生み出される最新技術がお披露目される。

<http://www.nextech-conference.com/>（配信時点でウェブサイトは昨年情報）

医療 CAST（10月22～23日、テルアビブ）

脳卒中治療のための包括的アプローチ（Comprehensive Approaches in Stroke Treatment）についての学会。

<http://cast-meeting.com/>

医療機器 IDAN (10月24～26日, テルアビブ)

歯科産業に関する展示会。医療機関や研究機関が、歯科に関する装置について学ぶとともに、適正価格で購入が可能。

<http://www.dentalshow.net/>

医療 RCINGSCM (10月31日～11月1日, ヘルツェリア)

臨床マイクロラボにおける次世代シーケンシングの地域的能力構築に関する、3日間の国際ワークショップ。

<http://congress.co.il/ESGMD-NGS-workshop/>

産業技術 TECHNOLOGY2017 (10月31日～11月2日, テルアビブ)

産業技術分野の国際展示会。第24回を迎え、イスラエルにおける同種の展示会の中でも最大級である。今年は15,000人の来場が見込まれる。展示会と共に、セミナーやB2Bミーティングも開催。

<http://www.fairs.co.il/en/tech/>

環境 DDD 2017 (11月6-9日, ベエルシェバ)

乾燥地、砂漠、砂漠化に関する、隔年開催の国際会議。ネゲブ・ベングリオン大学の砂漠研究所にて行われる。今年のテーマは「砂漠化及び乾燥地管理との闘いー理論と実践」。

<http://in.bgu.ac.il/en/desertification/Pages/default.aspx>

医療 イスラエル麻酔学会国際会議 (11月7～8日, テルアビブ)

3年ごとに行われるイスラエル麻酔学会の国際学会。欧州麻酔学会の年次会議も併催される。今回のテーマは「現代における麻酔：いつでも、どこでも」。

<http://icisa2017meeting.com/>

無人機 UVID 2017 (11月9日, エアポート・シティ)

遠隔無人運転 (Remote Unmanned Vehicle) に関する国際会議。例年20カ国以上から約1,500人が参加している。昨年のテーマは「On the Brink: Remote Unmanned Vehicles Entry into the 3rd Generation」。

<http://uvid2016.israeldefense.co.il/> (昨年情報)

<http://conferencesandexhibitions.israeldefense.co.il/idf-smartforms/node/253> (2017年のウェブサイトは未公開のため、今後情報配信を希望する場合は上記より登録)

空調設備 ACLIMA (11月7～9日, テルアビブ)

空調, 冷蔵, 暖房, 換気設備, 及びエネルギー効率に関する国際展示会。2年に一度開催。

http://www.stier.co.il/ACLIMA/index_en.asp

家具 TIMBER 2017 (11月21～23日, テルアビブ)

木工家具の展示会。イスラエル企業約300社に加え, 前回は18カ国から出展があった。木工家具製造のコンピュータ化なども反映されている。

<https://www.itex.co.il/sblisraelEN.aspx>

食・サービス FOOD & HOSPITALITY WEEK (11月28～30日, テルアビブ)

食産業・サービス産業に関するイベントを集中的に実施する「フード&ホスピタリティウィーク」の一環として, 食品・飲料品の国際展示会「ISRAFOOD」, サービス業の設備に関する国際展示会「HOTEX」, キッチン・レストラン用品を扱う「KITEX」, 製菓・製パン業関連製品を扱う「Bake-Cake」が開催される。

http://www.stier.co.il/ISRAFOOD/index_en.asp

http://www.stier.co.il/HOTEX/index_en.asp

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/bake-cake/>

<http://www.fairs.co.il/en/fairs-event/kitex/>

ライフサイエンス ヘルスケア技術革新 (12月3～6日)

テルアビブ大学経営大学院とIATIが共催する, エグゼクティブ向け教育プログラム。ライフサイエンス産業を牽引する指導者層を作り出すことを目的としており, 今年で11回目の開催。今年のテーマは「ヘルスケア技術革新 – アイデアから商業化へ」。

<http://biomedmanagement.tau.ac.il/>

医療 ICI 2017 (12月3～5日, テルアビブ)

心血管系(心臓, 脳及びその周辺)におけるイノベーションと, ライフサイエンス分野のハイテク産業に関する国際会議。中国と協力した「Wall-to-Wall- East Meet West」セッションが設けられる。

<http://2017.icimeeting.com/>

都市 MUNI EXPO (2018年2月13～14日, テルアビブ)

イスラエルの地方自治体連合の年次イベント。イスラエルの257の地方自治体の幹部や, 地方所在企業などが参加する。イスラエルの国内外のサプライヤーや地方企業などが一同に介し, ビジネスの出会いの場を得る。今年のテーマは「イノベーションとスマートシティ」。

<http://www.muniexpo.co.il/%D7%9E%D7%95%D7%A0%D7%99-%D7%90%D7%A7%D7%A1%D7%A4%D7%95muni-expo-5/>

医療 国際 ADHD 会議（2018 年 3 月 19～21 日，テルアビブ）

慢性障害 ADHD に関し，その症状や臨床，診断，治療などを取り上げる国際学会。

<http://2018.adhdcongress.co.il/>